

大分県国東市武蔵町愛育会(大分県国東市)

(構成：糸原愛育班(7分班23名)、東区愛育班(8分班35名)
西区愛育班(5分班15名)、愛育OB会(班長、班員経験者))

《活動主体の概要》

総人口： 5,311人

高齢者数： (高齢化率 33.4%)

世帯数： 2,245世帯

地理的構造：大分県の東北部、国東半島の東部に位置し、東は瀬戸内海に臨み、西は国東半島の主峰両子山を仰いでいる。

活動のきっかけ

昭和53年に町より委嘱され、母子保健推進委員として活動していた方々が、愛育班活動の素晴らしさを知り、町保健師の指導のもと愛育班活動の一步を踏み出しました。

妊産婦、乳幼児への支援から始められた愛育班の「声かけ」も、少子高齢化がすすむにつれ、活動の対象や内容も少しずつ変化していますが、「愛育のこころ」で継続しています。

その中、「独り住まいのお年寄りが、元気で朝を迎えた印に、家のカーテンを開けるようにしている」という声かけが引き継がれ、倒れていたおばあさんの早期発見・救助につながったことがありました。それ以後、「カーテンコール」と名付けられたこの活動は、今も武蔵町だけではなく、愛育班活動をしている市町村にも広がり継続されています。

* 『愛育班活動』とは・・・

健康づくりを目的に、地域で暮らす全ての人々を対象として、声かけ訪問・見守りを行い、地域の健康課題の解決に向けて、みんなで話し合い、主体的に健康づくりに取り組む、住民組織活動です。「愛育会」は大分県内6市1町にあり、各市町において地域に根ざした活動が行われています。

活動方法

武蔵町愛育会の活動の一つに“「愛育会だより」を持っての声かけ訪問”があります。

愛育班員さんは、毎月、手作りの「愛育会だより」を手に、受け持ち世帯へ声かけ、見守り訪問をします。「こんにちは！おかわりないですか？」「子どもさん、大きくなりましたね」等、声かけをしながら、その時の健康話題やおすすめレシピ、母子健診日程などを記載している「愛育会だより」お渡ししています。この「愛育会だより」は、たいへん好評をいただいているところです。そして、この時の様子などを「声かけメモ」として残し、分班長さんに渡しています。

分班長さんは、毎月月末の夜に分班長会議を開き、班員さんの「声かけメモ」をもとに、地区の様子を報告し合い、気になる人や生活の困りごとを話題として話し合う時もある。「赤ちゃんが生まれた！」「転入してきた！」など嬉しい話題の時もあります。

分班長会議は、町や保健所の保健師も参加しての『考え・検討する場』となっており、その内容が、次回の愛育会だよりの記事となったり、地域での声かけにつながったりしています。また、時には、健康づくりや町づくりへと発展することもあります。

工夫点

スタイ（よだれかけ）や音の出るおもちゃの配布



メッセージカードと共に渡し、若い人にも愛育班を知ってもらう機会にしています。
健診や子育て支援センターで使ってくれている姿を見かけると嬉しくなります！

活動時には、ピンクのエプロンと訪問カバンを使用しています。“あいいく色”に染まった人という意味合いもあります。

2年毎に班員が交代することで、多くの方が愛育班に関わるようになります。

成果

活動は、「健康で明るく、いきいきとし暮らしたい」という願いを持つ地域の人々によってつくられ、引き継がれていきます。

1. 声かけし見守ることで、相互につながる「和＝輪」ができ、安心して住みやすい町になっています。班員さんも元気をもらったり、「やってよかったな」という思いになっています。
2. 子どもに声をかけることで、その母やその家庭とも仲良くなり、違う場所でもお互い声をかけあうことができることが喜びへと繋がっています。
3. 独り暮らしの方の話し相手となり、「ありがとう、またきてね」の言葉に、少しでも孤独感を無くすことが出来ていると感じています。
4. 支援が必要な方に支援が得られたり、保健師だけでなく、市の関連する行政機関等につながったことで、住みよい地域になったこともあります。



課題

全町に組織していた愛育班も、班員の高齢化や役員選出が困難などの理由から、活動を休止している地区も増えてきました。

市町村合併後、市全体に組織、育成されている保健推進委員と兼務している地区もあり、今後の愛育班は、“地域に根付いた地道な愛育活動の継続をすすめること” “組織の強化を地域と行政が一体となつてすすめていくこと”が必要となっています。

「武蔵町愛育会のスローガン」である『～愛育活動を活発化するため、地域の人々と手をつなぎ、声をかけあいましょう～』は、課題であるとも言えます。

代表者、事業者等の声

愛育会として3班が組織されて30周年が経ち、班員経験が二度三度という方も出てきています。

活動の中心である「愛育会だより」を持つての声かけと、話し合いを繰り返す、この地道な活動が、住みよいまちづくり、安心して暮らせるまちづくり、そして健康なまちづくりへと繋がっていくことを確信しながら、次々にバトンタッチしていきたいと考えています。

……合い言葉は、『出来る時に出来ることを』です。……



「くにさき」の「さき」と緑色の良い「吉」を合わせて「大吉」より上の「最大吉」を意味しています！

国東市のマスコットキャラクター「さきくん」